５年　工業生産を支える貿易・運輸　海運と船の役割について調べる時間に 楽しく学び、くわしく知ろう！ 海運と船と港の役割 を活用する。

本時のねらい

船や港の施設の役割や主な輸出入品目ついて調べ、日本の海運の特色を理解する。

学習の流れ

(1) サイトのイラストを見て、本時のめあてをつかむ（５分）

T　１ページ目のイラストから、どんなことが分かりますか。

C　港の様子で、いろいろな船が描かれています。

T　その通りです。今日は船や港の施設の役割や海運の特色を調べましょう。

船や港の施設の役割や日本の海運の特色を調べよう。

(2) 船や港の施設の役割や日本の海運の特色について調べる。（２０分）

T　動画や写真のアイコンをクリックすると、説明を観ることができます。また、２ページには、日本と世界をつないでいる海運についての資料がありますから、自分で資料を選んで調べましょう。

(3)　調べて分かったことを交流し、船や港の施設の役割や海運の特色をまとめる。（２０分）

T　それでは、調べて分かったことを交流してまとめましょう。

C　港には、石油などの原材料を運ぶ船や車などの工業製品を運ぶ船、お客さんを運ぶ船など、様々な役割の船や、それを支える施設があった。

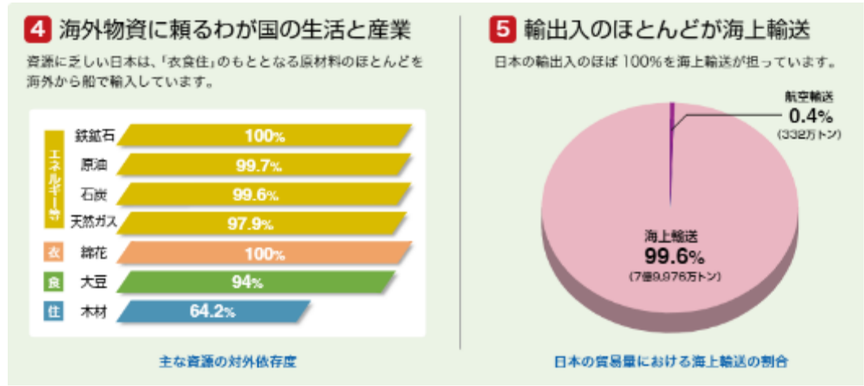
C　日本の輸出入はほぼ 100％海運が使われていて、日本の工業生産を支えていることが分かった。

まとめ

船には、石油やガスなどの原材料を運んだり自動車などの工業製品を運んだりするものなど、様々な種類があり、それに合わせた役割をもった施設が港にある。日本の海運は原材料の輸入や工業製品の輸出に大きな役割を果たしていて日本の工業生産を支えられている。

○児童が一人一台端末で資料にアクセスする流れと活用する資料の一覧

○参考資料　SHIPPING NOW 2024-2025　12 ページより



板書例

問い　船や港の施設の役割や日本の海運の特色を調べよう。

◎港の施設や役割

○原材料の輸入
- 石油
- LNG
- 石炭
- 木材
- 穀物

○工業製品の輸出
- 自動車
- 工業製品
- 食料品

○港には貨物を積み下ろすための様々な施設があり、たくさんの人々が安全に気を付けて工夫して働いている。

◎海運の特色
- 重いものやかさばるものを安く大量に運べる。
- 原材料の輸入や工業製品の輸出のほとんどを海運が担っている・

⇒日本の工業生産は海運に支えられている。

船には、石油やガスなどの原材料を運んだり自動車などの工業製品を運んだりするものなど、様々な種類があり、それに合わせた役割をもった施設が港にある。日本の海運は原材料の輸入や工業製品の輸出に大きな役割を果たしていて日本の工業生産を支えられている。

資料の活用のしかた

○【ページ１】さまざまな設備や特徴をもっている港

まず、港に広がる施設や船舶のイラストを概観することで、船や港の施設への興味・関心を高めるようにする。続いて自由に調べる時間を確保し、写真や映像資料を視聴しながら船や施設の役割について調べる。すると、船には旅客だけではなく、原材料や工業製品など、様々なものを輸送する役割をもったものがあることや、港には、それらを支える様々な施設があることを捉えることができる。

○【ページ２】暮らしに必要なものは船が運んでる！

ここでは、「海運」の働きにより、海外から石油や LNG、鉄鉱石など、の原料が輸入されていることや、電気製品、自動車などの工業製品が輸出されていることを捉えられるようにする。その際に、日本の輸出入の 99.6%が海運である※1 ことや、輸送に時間がかかる一方重いものやかさばるものを安く大量に運べる海運の特徴もつかませたい。

※1 最上段参考資料

本時の評価と支援

【知識・技能】

船や港の役割や主な輸出入品目ついて調べ、日本の海運の特色を理解している。

（発言・ノート等）

○支援のポイント

ページ内の動画は一般向けに制作されたものであるため、小学生には難しい用語が出てくる。しかし、専門用語の理解は不要であるため、直接見学することが難しい船の大きさをや、コンテナ等の荷役の正確さ、関わる人々の様子に着目して視聴させたい。